病棟・外来

化学療法ワークシート＜ADOC療法＞

第　　コース

Ⅰ. 基本情報

患者ID	@PATIENTID
生年月日	@PATIENTBIRTH3
患者氏名	@PATIENTNAME
性別	@PATIENTSEXN
年齢	@PATIENTAGEFORMATTED

ADOC療法プロトコール(every 3 weeks)

		day1・・3・4・・・・・・・・day22
CDDP(シスプラチン)	50mg/m^2	↓ next
DXR(ドキソルビシン)	40mg/m^2	↓ in→
VCR(オンコビン)	0.6mg/m^2	↓
CPA(エンドキサン)	700mg/m^2	↓

〈疾患名〉
□胸腺腫・胸腺がん

告　知　□あり　□なし

〈前コースの化学療法開始日〉　　年　　月　　日
〈前コースの投与量〉
シスプラチン　mg　ドキソルビシン　mg　オンコビン　mg　エンドキサン　mg

Ⅱ. 化学療法実施過程

＊投与日当日のチェック事項 （記載のない場合はDr. に確認を行った後、薬局3689に連絡する）

薬剤名	規格	数量	第1日目 ( )	第2日目 ( )	第3日目 ( )	第4日目 ( )
1) ソルデム3A （持続点滴メイン：ルート確保用）	200mL	X1B				
2) パロノセトロン点滴バッグ デキサート注 （持続点滴側管：0.5時間）	0.75mg/50mL 3.3mg/1mL	×1B ×3A				
2) デキサート注 生食 （持続点滴メイン：0.5時間） day2は側管	3.3mg/1mL 100mL	×2A ×1A				
3) ドキソルビシン ドキソルビシン 生食 （持続点滴側管：15分）	50mg/V 10mg/V 50mL	×(　)V ×(　)V X1B				
4) イメンドカプセル （内服：day1はシスプラチン投与の1～1.5時間前に服用）		×1セット	125mg	80mg	80mg	
5) 硫酸Mg補正液 アスパラカリウム注 ソルデム1 （持続点滴側管：1時間）	20mEq/20mL 10mEq/10mL 500mL	×0.4A ×1A ×1B				
6) マンニットールS注射液 （持続点滴側管：0.5時間）	300mL	200mL				
7) シスプラチン注 シスプラチン注 シスプラチン注 生食 （持続点滴側管：1時間）	50mg/100mL 25mg/50mL 10mg/20mL 500mL	×(　)V ×(　)V ×(　)V 300mL				
8) アスパラカリウム注 ソルデム1 （持続点滴側管：1時間）	10mEq/10mL 500mL	×1A ×1B				
9) オンコビン 生食 （持続点滴メイン：5分）	1mg/V 50mL	×(　)V X1B				
10) エンドキサン エンドキサン 生食 （持続点滴メイン：0.5時間）	500mg/V 100mg/V 100mL	×(　)V ×(　)V X1B				
11) 生食 （持続点滴側管：全開で フラッシュ用）	50mL	×1B				
12) 生食 （持続点滴メイン：全開で フラッシュ用）	50mL	×1B				

Ⅲ. 化学療法剤投与量算出

＜ CDDP・DXR・VCR・CPA 投与量 ＞

□前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ)

身長(　　cm)　体重(　　Kg)
体表面積(　　m^2)

CDDP(シスプラチン)投与量(＿＿＿＿＿＿mg/body)
= 50mg/m^2 × 体表面積(　　m^2) × (　　%)

DXR(ドキソルビシン)投与量(＿＿＿＿＿＿mg/body)
= 40mg/m^2 × 体表面積(　　m^2) × (　　%)

VCR(オンコビン)投与量(＿＿＿＿＿＿mg/body)
= 0.6mg/m^2 × 体表面積(　　m^2) × (　　%)

CPA(エンドキサン)投与量(＿＿＿＿＿＿mg/body)
= 700mg/m^2 × 体表面積(　　m^2) × (　　%)

＜備考欄＞
・day1～4は1000mLの飲水を行う。
・オンコビン：2mg/dayが上限。
・ドキソルビシンの総投与量は生涯において500mg/㎡以下とする。
・血管外漏出：ドキソルビシン、オンコビンは壊死性。
・本レジメンは最大4コース治療予定

主治医	薬剤師	薬剤師

H23. 7 薬局 改訂

2024/7/2